

## 第3編 基本計画

---

# 第1章

## 活力ある産業振興と賑わいのあるまちづくり

### 政策 1

#### 将来性のある農漁業の振興

##### 施策

- 1 担い手育成と従業者の確保
- 2 生産環境の整備
- 3 農漁業の活性化

### 政策 2

#### 地域産業の活性化

##### 施策

- 1 地場産業の振興
- 2 商業の振興

### 政策 3

#### 地域資源を活かした観光の振興

##### 施策

- 1 海辺のスポーツによる交流促進
- 2 食のまちづくり
- 3 観光情報発信力の強化

KGI(重要目標達成指標)

## 新規農漁業者数

現状値 4人



目標値 14人

## 施策 1 担い手育成と従業者の確保

## 現状と課題、これまでの取組

- 農業、漁業いずれも従事者の高齢化、後継者及び担い手の不足が進み、厳しい状況にあります。農業については、担い手の育成、ニーズに合った営農手法の支援として集落営農の推進や若手農業者の育成に取り組んでいます。
- 漁業については、従事者の高齢化や漁業資源の減少による経営の悪化により、担い手確保が難しい状況にあります。

## 今後の方向性

☆中核的農業者の育成として、地域に即した営農の推進、経営分析、フォローアップなど農業経営の支援及び研修会等によるスキルアップを図ります。

☆新規就農者に加え、多様な農業の担い手の育成を図ります。

☆漁業においては、経営の安定化を促進し、担い手の確保・育成を図ります。



## 〈主な取組〉

### 1 地域営農の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
集落営農をはじめ、地域に即した営農を推進します。	人・農地プラン策定数	1	5	○	○

### 2 農業者の育成

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 認定農業者の経営安定化の支援に取り組みます。	認定農業者件数	58 経営体	58 経営体	○	○
(2) 農業振興会の活動を支援し、農業者のリーダー及び若手農業者の育成を図ります。	農業振興会への加入者数	132 人	137 人	○	○
(3) 女性や定年帰農者など新たな担い手の育成を図ります。	新規就農経営体数	3 経営体	8 経営体	○	○

### 3 漁業の担い手の育成

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
漁業協同組合の経営安定化とともに、後継者や担い手の確保・育成を図ります。	新規漁業者数	1 人	6 人	○	○

#### 主な取組の指標の表示について

今後の方向性を具体化するため、主な取組の達成を図る指標として現状値、目標値を掲載していますが、指標を設定することが適当でないものについては「－」で表示しています。

また、施策・事業が総合戦略及びSDGsに位置づけされていない場合には「－」で表示しています。

## 施策2 生産環境の整備

### 現状と課題、これまでの取組

- 農業については、高齢化や担い手の不足による離農などから、遊休農地が増加しています。
- 地域の営農体制の構築と農業の多面的機能<sup>\*</sup>を発揮させる事業の取り組みを推進しています。認定組織と協力し、農地保全や農地集積・集約事業に取り組み、排水の改善や農地の活用による景観形成など、快適な田園環境づくりに向けた事業の推進に、効果が現れています。
- 漁業については、漁船の大型化に伴う漁港機能の維持が課題となっています。一方で、漁業協同組合と連携したハマグリやナガラミの種苗放流事業により、獲る漁業から作り育てる資源管理型漁業へ事業形態が変化しつつあります。

### 今後の方向性

- ☆ 老朽化や経年劣化に伴う土地改良施設の改善を図り、面的整備などの生産基盤を整えることを検討していきます。
- ☆ 農地保全や農地集積・集約事業を推進し、優良農地の確保を図るなど、地域全体で総合的な観点から地域営農体制の構築を図ります。
- ☆ 漁業については、貝類の種苗放流事業を引き続き支援するとともに、漁業経営の安定化を図ります。

### 〈主な取組〉

#### 1 優良農地の確保

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
多面的機能支援交付事業等により、地域の実情に配慮した基盤整備や景観形成を図ります。	多面的機能支払交付金による活動組織数	5団体	5団体	○	○

#### 2 農地集積の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
やる気のある農業者に、農地の集積・集約化を図ります。	農地の利用権の設定割合	15.2%	15.2%	○	○

<sup>\*</sup> 多面的機能／農業・農村が有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の機能のこと。

### 3 資源管理型漁業の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
水産資源を安定的に確保するため、稚貝の放流を図ります。	地域水産物（貝類）の水揚げ量	896 t	900 t	—	○

### 4 漁港環境整備の支援

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
漁業協同組合と協議し、計画的な漁業環境整備について支援します。	漁港整備事業の進捗	—	—	—	○

### 5 生産環境施設の改善

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
老朽化や経年劣化した土地改良施設を改善し、生産環境を整備します。	土地改良施設維持管理事業による整備	—	—	—	—

## 施策3 農漁業の活性化

### 現状と課題、これまでの取組

- 消費者ニーズの多様化や農水産物の流通ルートの多元化など、市場環境が大きく変化しています。そうした中、食に対する安全・健康志向、旬や鮮度を重視する傾向がみられ、新鮮で安全な農水産物への関心が高まっています。
- 水産物については、資源のブランド化として「九十九里地ハマグリ」をはじめ、付加価値向上に向けた九十九里ブランドの育成に取り組んでいます。

### 今後の方向性

- ☆「九十九里地ハマグリ」など九十九里産品のブランド化の拡大を図ります。
- ☆農業者、漁業者、観光関係者が一体となり、地域特性と地域資源を生かした体験型農漁業を推進します。

### 〈主な取組〉

#### 1 九十九里ブランドの育成・確立

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
「九十九里地ハマグリ」などの九十九里ブランドの育成を図ります。	「九十九里地ハマグリ」を活用したイベント実施数	1回	8回	—	○

#### 2 体験型農漁業の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
農漁業資源を生かした体験観光メニューづくりや体験指導できるコーディネーターの育成など体験型農漁業を検討、推進します。	漁業体験型イベント数	0回	3回	○	○

## 政策 2

# 地域産業の活性化

### KGI(重要目標達成指標)

#### 九十九里ブランド開発のための支援件数

現状値 0 件



目標値 1 件

## 施策 1 地場産業の振興

### 現状と課題、これまでの取組

- いわし漁で日本一を誇った町内には、多くの水産加工の事業所があります。そうした事業所の大半は中小企業であり、売り上げの減少や後継者の不足など、多くの問題を抱えています。
- 消費者ニーズを吸い上げ、水産加工品の品質向上を図る必要があります。

### 今後の方向性

☆ 中小企業の経営の安定化に向け取り組むとともに、生産の協業化や消費者が参加した商品の開発など、新たな生産・流通システムの展開を検討します。

### 〈主な取組〉

#### 1 ブランド化の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
水産物を活用した新商品の開発・販売に向けた取り組みを支援し、付加価値の向上を図ります。	九十九里ブランド開発件数	0 件	1 件	○	○

#### 2 経営安定化の促進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
商工会と連携し、中小企業の経営安定・向上を図ります。	中小企業者の運転・設備資金新規件数	8 件	8 件	—	—

## 施策2 商業の振興

### 現状と課題、これまでの取組

- 商業は、消費者ニーズの変化に加え、隣接する東金市等の国道沿いにある大型店への消費者の流出、インターネットによる商品購買など、厳しい環境が続いています。
- 経営者の高齢化が進み、後継者不足から空き店舗や空き地が増えるなどの問題を抱えています。
- 商工会と連携を図り、経営安定化の支援や創業支援相談を行っています。

### 今後の方向性

- ☆ 町民生活に身近な場所で商業活動を営むことができるよう、新しいサービス展開による商業活動の活性化、地域コミュニティの場としての空き店舗の活用などを支援します。
- ☆ 観光による誘客を図るためには、商業が大きな役割を担うことから、地域住民を巻き込んだイベントなどへの支援に努めます。
- ☆ 情報サービスなど新たなサービスの起業や人材育成について、関係機関と連携した支援に努めます。

### 〈主な取組〉

#### 1 商工会への支援

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 商工会と連携し、既存中小企業や新規創業者への支援を図ります。	—	—	—	○	○
(2) 商工会と連携し各商店の経営改善を図ります。	—	—	—	○	○



## 政策 3

# 地域資源を活かした観光の振興

### KGI(重要目標達成指標)

#### 観光入込客数

現状値 619,305 人



目標値 800,000 人

## 施策 1 海辺のスポーツによる交流促進

### 現状と課題、これまでの取組

- 豊かな緑と美しい渚を持つ九十九里浜では、釣りや地曳き網のほか、夏期には海水浴場が設置され、年間 20 万人を超える海水浴客が来場します。また、年間を通じサーフィンを楽しむ人も増えています。
- 観光動向として自然志向、健康志向などが強まるなか、海辺のスポーツは、年々盛んになっており、ビーチバレー、ビーチサッカーなどの場として利用される例も多く、九十九里浜においてもその様なニーズに応え得る可能性を十分に秘めています。

### 今後の方向性

☆海辺のスポーツといった形で新しい資源を掘り起こしながら、さまざまな楽しみ方ができるよう、九十九里浜を中心に心身ともにリフレッシュできる空間を提供します。

☆海や渚の保全を図るため、ビーチクリーン等の清掃業務を行い、来遊客の受け入れ体制を強化します。

### 〈主な取組〉

#### 1 海辺のスポーツイベント

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
海辺を生かしたスポーツイベントによる交流機会を創出し、九十九里の魅力の発信に努めます。	海辺のスポーツイベントの開催数	2 回	6 回	—	—

#### 2 海辺の環境整備

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
ビーチクリーンを強化し、環境整備を図ります。	—	—	—	—	—

## 施策2 食のまちづくり

### 現状と課題、これまでの取組

- 江戸時代には、九十九里浜はいわし漁で日本一を誇り、いわしで栄えた町でもあります。町内には漁業者、農業者をはじめ加工業者、宿泊施設、飲食店など、食に携わる多くの方が暮らしています。そして、暮らしの中で培われてきた食文化があります。
- 都市との交流により、農業、水産業の持続的な維持に向け、新たな魅力発信基地として「いわしの交流センター」を開設しています。ここでは、地元の農水産物を使った「ご当地メニュー」の提供や直売事業により多くの人を集めています。

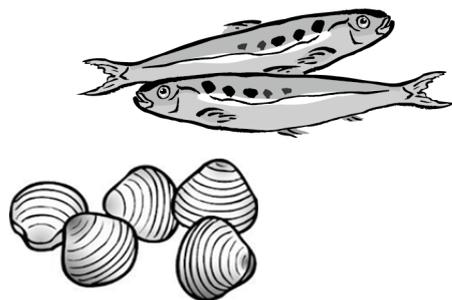
### 今後の方向性

- ☆食文化を大切にする町民意識の高揚を図るとともに、本町を訪れる人が食を通して楽しさと心の豊かさを味わうことのできる食のまちづくりを推進します。
- ☆「いわしの交流センター」を魅力発信基地の拠点施設として、食及び食の周辺文化を活用し、消費者との活発な交流を図ります。

### 〈主な取組〉

#### 1 食のまちづくりの推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1)「いわし」や「九十九里地ハマグリ」といった九十九里ブランドの確立に努めます。	郷土料理PRイベント回数	2回	10回	—	○
(2) 関係機関と連携し、新たな郷土料理の開発・普及に努めます。					
(3) 町内の飲食店の食材は、地元産を取り扱っていることのPRに努めます。					



## 施策3 観光情報発信力の強化

### 現状と課題、これまでの取組

- 本町の大きな観光資源である九十九里浜は、「白砂青松 100 選」や「渚百選」に選ばれるなど、日本を代表する海岸であり、夏の海水浴をはじめ、地曳き網、釣り、サーフィンなど海のレジャーのメッカとなっています。また、海辺の利用として撮影のロケ地ともなっています。
- 平成8年にオープンした国民宿舎「サンライズ九十九里」は知名度を生かした集客力の高い施設です。また、東京行き高速バスのターミナルがあり、町の玄関としての役割を果たしています。
- 町内では、遊漁船による釣り体験、調理体験、地曳き網、イチゴをはじめとする摘み取り体験、ガラス工芸体験、海のスポーツ体験など、さまざまな体験活動が楽しめます。
- 平成27年には片貝漁港の后背地に「いわしの交流センター」が開設され、いわし資料館とともに、新鮮な魚やグルメを楽しめる新たな観光スポットとなっています。
- 観光協会、国民宿舎「サンライズ九十九里」、「いわしの交流センター」などと連携し、観光情報の発信に努めています。

### 今後の方向性

- ☆海辺を楽しむことのできる環境づくりを推進するとともに、新たなニーズを捉え、具体化に取り組みます。
- ☆体験を提供している事業者への支援とともに、事業者間の連携を深め、体験観光の充実に努めます。
- ☆観光拠点エリアにおける事業活動の活発化や、観光協会との連携による観光宣伝、誘客に努めます。
- ☆情報発信において大きな影響力を持つ既存メディアの有効活用を図ります。また、フィルムコミッション事業を推進します。

〈主な取組〉

1 海辺環境の活用

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 夏期には海水浴場を開設し、来遊客が利用する施設の充実を図ります。	海水浴場の入込数	73,255人	20万人	—	—
(2) 九十九里浜を中心に、海辺のスポーツなど各種イベントを企画、開催するとともに、フィルムコミッション事業を推進します。	九十九里浜の撮影誘致	8件	10件	—	—

2 情報発信の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) インターネットやSNS※はもちろん、情報発信に大きな影響力をもつメディアの有効活用に努めます。	情報発信の充実	—	—	—	○
(2) 観光協会をはじめ、民間や関係団体と連携し、観光PR事業に努めます。					

※SNS/WEBサイト上で、社会的ネットワークを構築するサービスのこと

# 第2章

## 健やかに生き生きと暮らすまちづくり

### 政策 1

#### 生活を通じた健康づくりの推進

##### 施策

- 1 健康づくりの促進
- 2 医療体制の充実

### 政策 2

#### 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

##### 施策

- 1 子育て支援の充実
- 2 母子の健康づくりの支援
- 3 教育・保育環境の充実

### 政策 3

#### 支え合いと生きがいの地域づくり

##### 施策

- 1 介護予防・健康づくりの推進
- 2 高齢者を地域で支える体制整備
- 3 障がいのある人の地域生活支援

## KGI(重要目標達成指標)

## 三大生活習慣病(がん、心疾患、脳血管疾患)による死亡率

現状値 51.2% (平成 30 年)



目標値 51.1%

## 施策 1 健康づくりの促進

## 現状と課題、これまでの取組

- 本町の疾病構造は、がん、心疾患、脳血管疾患など生活習慣病が死亡原因の上位を占めています。健診結果や医療分析の結果からも、高血糖や高血圧等の予防可能な生活習慣病リスクのある人が多い状況にあります。
- 生活習慣病対策に重点をおき、各種健（検）診や重症化予防事業、健康相談など疾病の予防から早期発見、早期治療に繋がるよう取り組んでいます。また、各医療保険者ごとにメタボリックシンドローム\*に着目した特定健康診査、特定保健指導を行っています。
- 生活習慣の改善を図るため、食生活改善推進員を中心に、地域や学校での食育推進や健康づくり活動への取り組みを支援しています。

## 今後の方向性

- ☆各種健（検）診の受診率向上を図るとともに、糖尿病の所見や腎機能の低下が見られる人に対する重症化予防の実施、指導の強化に努めます。
- ☆食生活改善推進員の協力を得ながら町民の健康意識の啓発・向上を図り、自らが生活習慣を見直し、改善に取り組むことができるよう、地域ぐるみで健康づくり運動を進めます。
- ☆新型コロナウイルスといった新たな感染症への対策については、関係機関との連携のもと、これまでの取り組みを生かした予防に努めます。

\*メタボリックシンドローム／内臓脂肪が過剰に蓄積されていることに加え、血圧上昇、空腹時の高血糖、脂質の異常値が見られる状態のこと

## 〈主な取組〉

### 1 生活習慣病予防の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 各種健（検）診についての周知啓発を図ります。	周知啓発回数	1回	2回	○	○
(2) 健診後の健康相談や保健指導の充実など、重症化予防を図ります。	健康相談開催数	24回	24回	○	○

### 2 地域ぐるみの健康づくりの推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 食生活改善推進員の協力により、食生活の改善や健康づくり活動を推進します。	食育推進に向けた情報の発信	38回	40回	○	○
(2) 健康まつりなど町民参加型で取り組む健康づくり活動を推進します。	健康まつりの開催	0回	1回	○	○

### 3 感染症予防の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 関係機関との連携による感染症に対する正しい知識の普及を図ります。	周知啓発回数	—	4回	○	○
(2) 各種予防接種の周知徹底を図ります。	未接種者への連絡	—	—	○	○

### 4 保健事業の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
特定健診等の保健事業により、生活習慣の改善と疾病の早期発見・早期治療を促進します。	短期人間ドック助成支援件数	289件	305件	—	○
	特定健康診査受診率	44.5%	60.0%	—	○

## 施策2 医療体制の充実

### 現状と課題、これまでの取組

- 高齢化や疾病構造の変化に伴い、医療に対するニーズは、ますます多様化・高度化しています。町内には1病院4診療所、5歯科医院があり、東金市に地域の救急医療及び急性期医療を担う東千葉メディカルセンター（地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター）を整備し、医療体制の充実を図っています。
- 地域救急医療体制については、初期救急医療として夜間・休日急病診療所及び在宅当番医制によって、二次救急は二次救急医療機関の輪番制で分担しています。

### 今後の方向性

☆医療に対する町民ニーズに対応するための医療体制の充実に努めるとともに、地域中核病院である東千葉メディカルセンターの適切な運営や、救急医療の充実に努めます。

### 〈主な取組〉

#### 1 救急医療体制の維持

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 東千葉メディカルセンターの運営支援とともに、地域医療の中核病院としての維持を図ります。	負担金及び繰出金	—	—	○	○
(2) 夜間や休日における急病に対応する地域救急医療体制の充実に図ります。	負担金及び繰出金	—	—	○	○

#### 2 地域医療の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 安全で安心な地域医療体制の充実に図ります。	負担金及び繰出金	—	—	○	○
(2) かかりつけ医を持つ大切さの周知啓発を図ります。	広報等周知回数	0回	1回	○	○

## 政策 2

# 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

### KGI(重要目標達成指標)

#### 合計特殊出生率

現状値 0.94 (平成 30 年)



目標値 1.23

## 施策 1 子育て支援の充実

### 現状と課題、これまでの取組

- 共働き世帯、ひとり親家庭など家族形態は多様化し、子育て世代を取り巻く環境は大きく変化しています。子ども・子育て支援制度に基づき地域全体で子育てができる環境づくりと、総合的な子育て支援に取り組んでいます。
- 地域子育て支援センターやこども園の園開放では、育児に関する相談や情報提供を行い、同世代の子を持つ親子が交流する場となっています。
- 子育てに伴う経済負担の軽減を図るため、医療費の助成を対象年齢 15～18 歳の高校生等まで拡充する取り組みや、ひとり親家庭に対する支援を行っています。

### 今後の方向性

- ☆ 子育てに伴う経済的負担の軽減及びひとり親家庭への相談や関係機関との連携の充実を図ります。
- ☆ 児童虐待については、関係機関の連携強化により早期発見・早期対応を図ります。

〈主な取組〉

1 子育て拠点の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
子どもたちが安心して遊べ、親たちも互いに交流できる地域子育て支援センター機能の充実を図ります。	子育て支援センター数	拠点：1ヶ所 出張ひろば：1ヶ所以上	拠点：1ヶ所 出張ひろば：1ヶ所以上	○	○

2 子育て支援の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 子ども医療費の助成や児童手当など、子育て世帯への経済的な支援を図ります。	—	—	—	○	—
(2) こども園の園開放を推進します。	実施園数	2園	2園	○	○
(3) ひとり親家庭の自立を支援する相談・指導の充実を図ります。	—	—	—	—	—
(4) 関係機関との連携強化を図り、児童虐待防止に努めます。	相談・対応件数	21件	—	○	○
(5) 不定期就労や妊娠・出産・家族介護などにより一時的に保育が必要となる親を支援します。	一時保育施設数	1施設	1施設	○	○



## 施策2 母子の健康づくりの支援

### 現状と課題、これまでの取組

- 妊娠期や出産期、乳幼児期などにおける母子保健サービスを行い、母子の健康の維持及び増進に努めています。
- 身近に相談する相手や支援する人がいないため、育児不安を抱える保護者が増えています。妊婦健診や乳幼児健診に対する助成、乳児のいる家庭への全戸訪問・指導の実施と相談、子育てや親子の健康づくりに関する知識の普及などに取り組んでいます。

### 今後の方向性

- ☆ 少子化・核家族化が進み、それぞれの家庭の環境は、より複雑になっていることから、それぞれの段階に対応した、より細かな支援を図ります。
- ☆ 妊婦健康診査や乳幼児健診の未受診者を防ぎ、費用の助成を継続します。
- ☆ 発達の遅れや、特性のある子どもを早期に発見し、関連機関と連携し、支援に努めます。

### 〈主な取組〉

#### 1 育児支援の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 安心して妊娠・出産できる保健体制の充実を図ります。	妊娠届出時の保健師面接の件数	100%	100%	○	○
(2) 妊娠・出産、乳幼児期に至る一貫した保健サービスの効果を高めるため、子育て世代包括支援センターの機能充実を図ります。	周知(町ホームページ、チラシ掲示)、個別案内	—	—	○	○

#### 2 発達相談の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
関係機関と連携し、子どもの発達の相談体制を充実します。	子育て相談開催数	15回	15回	○	○

## 施策3 教育・保育環境の充実

### 現状と課題、これまでの取組

- 少子化や家族形態の多様化などのニーズに対応するため、町立の2幼稚園と4保育所を統合、平成31年度に幼保連携型認定こども園の2園化を完了し、就学前児童の教育・保育環境の整備に努めています。
- 放課後、就労などによりに保護者のいない家庭の児童を対象とする放課後児童クラブが各小学校に設置されています。ニーズの高まりを受け、平成29年度より利用学年の撤廃と定員増、また実施時間を延長し、事業の拡充を図っています。

### 今後の方向性

- ☆就学前児童の教育・保育ニーズに対応し、こども園の円滑な運営を図ります。
- ☆放課後児童クラブは、安定した運営方法について検討します。

### 〈主な取組〉

#### 1 就学前児童の教育・保育の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
こども園の円滑な園運営を図ります。	こども園数	2園	2園	○	○

#### 2 放課後児童クラブの充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
放課後児童クラブの利用ニーズに対応した運営方法について検討します。	施設数	3施設	3施設	○	○

## 政策 3

# 支え合いと生きがいの地域づくり

### KGI(重要目標達成指標)

#### 認知症サポーターの人数

現状値 1,108 人



目標値 3,000 人

## 施策 1 介護予防・健康づくりの推進

### 現状と課題、これまでの取組

- 高齢者が要介護状態にならず、住み慣れた自宅や地域の中で住み続けることができるよう、健康づくりや介護予防に取り組んでいます。
- 町内 3 地区で体操教室や通いの場等の活動を行っています。また、ちどりの里は高齢者が気軽に立ち寄ることができ、自主的に活動できる介護予防拠点施設として機能しています。
- 高齢者の健康づくりや生きがいづくりでは、ダイヤモンドクラブ（老人クラブ）を中心に、生涯学習やスポーツ・レクリエーション活動に取り組む一方、シルバー人材センターでは、高齢者の豊かな経験や能力を活かした就労を促進しています。

### 今後の方向性

- ☆ 高齢者が気軽に参加できる健康教室や介護予防の取り組みを強化します。
- ☆ 「ちどりの里」は、高齢者のニーズを踏まえながら、高齢者のさまざまな活動の情報提供やきっかけづくりに努めます。
- ☆ ダイヤモンドクラブ（老人クラブ）の地域の自主活動を支援します。
- ☆ 働く意欲のある高齢者が就労の場を得ることができるよう、シルバー人材センターを支援します。

## 〈主な取組〉

### 1 介護予防の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 健康教室や介護予防に向けた取り組みを強化します。	体操教室の開催数	32回	32回	○	○
(2) ちどりの里で実施される通いの場等の機会を活用し、専門職による保健指導を行い高齢者の自立を支援します。	保健指導の実施	0回	12回	○	○

### 2 高齢者の生きがいづくり

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 地域の自主活動を支援します。	ダイヤモンドクラブ(老人クラブ)活動への支援	—	—	○	○
(2) 高齢者の就労機会の充実を図ります。	広報等周知回数	6回	7回	○	○



## 施策 2 高齢者を地域で支える体制整備

### 現状と課題、これまでの取組

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応する窓口として、地域包括支援センターを設置しています。
- 地域包括支援センターを拠点に、さらなる事業の充実が必要であるとともに、高齢者の権利擁護や虐待などへの対応が必要となっています。
- 認知症高齢者は国の推計と同じく増加を見込む必要があります。平成 30 年度から認知症集中支援チームを設置し、認知症の人や家族への個別支援の強化を図っています。
- 高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増えています。社会福祉協議会を中心に、地域町民の協力のもと「ふれあいいきいきサロン事業」や、ひとり暮らし高齢者の安否確認、話し相手となる「ゆうあい訪問事業」などを行っています。

### 今後の方向性

- ☆ 地域包括支援センターを中心に、高齢者が在宅で生活を続けられるよう、地域ケア体制の充実に努めます。
- ☆ 認知症に関する正しい知識と理解を図るとともに、チーム員の安定的な確保・育成を通して認知症の方やその家族の支援に努めます。
- ☆ 社会福祉協議会を中心に、民生委員・児童委員、地域包括支援センターとの連携を図るとともに、地域住民、ボランティアによる地域福祉活動の充実に努めます。

### 〈主な取組〉

#### 1 地域ケア体制の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 地域包括支援センターを中心とした地域ケア体制の充実に努めます。	自立支援型地域ケア会議の開催	0 回	1 回	○	○
(2) 成年後見制度について普及啓発を図ります。	広報等周知回数	0 回	1 回	○	○
(3) 認知症への正しい知識と理解の普及啓発とともに、家族への支援に努めます。	個別通知の実施回数	0 回	30 回	○	○

## 2 生活を支える福祉の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 社会福祉協議会を中心に関係機関との連携を図るなか、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への地域の見守り体制の充実を図ります。	独居調査実施回数	1回	1回	○	○
(2) 緊急通報装置の貸与や社会適応が困難なひとり暮らし高齢者等への支援を図ります。	緊急通報システム周知回数	0回	2回	○	○
(3) 地域の支え合いの担い手としての活動を促進します。	地域支え合い会議(協議体)の開催数	7回	—	○	○



## 施策3 障がいのある人の地域生活支援

### 現状と課題、これまでの取組

- 高齢化の進展により障がい者についても高齢化、重度化が進んでいます。「障がいのある人もない人も助け合い支え合って共に生きる 九十九里」を基本理念に、ライフステージに沿った施策の展開や地域みんなで取り組む活動を推進しています。
- 住み慣れた地域で生活を送れるよう、障がいの特性やニーズに応じた住まいの確保、日常生活支援などの障害福祉サービスを提供し、地域で自立した生活を支援していく必要があります。
- 関係機関と連携し、新たに支援を必要としている人の早期発見・早期対応に努めています。

### 今後の方向性

☆自立した日常生活や社会生活が送れるよう、相談支援体制の強化とともに、障害福祉サービスや地域生活支援事業の充実を図ります。

☆障がいについての理解を深め、障がい者が自立した生活を送り、さまざまな活動への参加が広がるよう努めます。

### 〈主な取組〉

#### 1 障がい者支援の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
相談体制の充実や在宅生活の支援など、障がい者が地域生活を続けられるよう、事業の充実を図ります。	障害福祉サービス利用者数	251人	280人	○	○
	障害児通所支援者数	78人	90人	○	○

#### 2 社会参加と交流の促進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
地域との交流機会を創出し、様々な行事や地域活動への参加を促進します。	社会参加支援等サービス利用者数	92人	110人	○	○
	福祉タクシー助成実利用件数	152件	180件	○	○

# 第3章

## 安全・安心に快適に暮らすまちづくり

### 政策 1

#### 災害に備える地域づくり

##### 施策

- 1 防災体制の充実
- 2 地域防災力の向上
- 3 消防体制の充実

### 政策 2

#### 快適に暮らせる基盤づくり

##### 施策

- 1 道路環境の整備
- 2 公共交通の充実
- 3 情報通信基盤の整備
- 4 空き家の利活用と移住・定住の促進
- 5 地域安全の推進

### 政策 3

#### 自然環境を守る地域づくり

##### 施策

- 1 自然環境の保全
- 2 資源の循環利用の促進
- 3 環境美化の促進

## 政策 1

# 災害に備える地域づくり

KGI(重要目標達成指標)

### 自主防災組織結成数

現状値 6 組織



目標値 23 組織

## 施策 1 防災体制の充実

### 現状と課題、これまでの取組

- 令和元年の一連の災害をはじめ、全国各地でこれまでの想定を超える大規模な自然災害が発生しています。実効性の高い防災体制の確立を目指し、災害活動体制や情報収集・伝達体制の整備、非常用物資の備蓄などに取り組むとともに、広域による連携などを図っています。
- 災害発生時には、災害情報の迅速な収集と町民への的確な情報周知が求められることから、県・町防災システムの適正管理や防災行政無線のデジタル化により情報伝達機能の充実を進めています。

### 今後の方向性

- ☆災害時に的確な対応ができるよう、県・町の防災システムの実効性の高い体制づくりや緊急情報を迅速に伝達できるよう防災行政無線の維持管理、非常用物資の備蓄を推進します。
- ☆災害時には、本町のみでの防災体制では対応できないことから、他市町村や広域、関係機関との協力・連携の強化を図ります。

〈主な取組〉

1 災害発生時における情報伝達の迅速化

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 災害発生時に迅速かつ確実に伝達できる防災行政無線の維持管理に努めます。	—	—	—	○	○
(2) 非常用物資の備蓄を図ります。	—	—	—	○	○

2 災害発生時の体制づくり

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 町地域防災計画に基づく災害応急対策の充実を図ります。	—	—	—	○	○
(2) 他市町村などとの災害時応援体制の強化に努めます。	—	—	—	○	○



## 施策 2 地域防災力の向上

### 現状と課題、これまでの取組

- 防災意識の普及・啓発に努めるとともに、災害発生時に被害を少なくする防災訓練の実施や共助の力となる自主防災組織の結成を促進しています。自主防災組織の設立支援や備品購入を補助することにより設立を促していますが、6組織の結成にとどまっており、地域における自主防災組織の結成促進と育成が課題となっています。
- 高齢化の進展により、地域の災害時における対応力が懸念されるため、地域全体で避難行動要支援者等を支援する体制づくりが課題となっています。

### 今後の方向性

☆啓発活動や過去の災害教訓の伝承により、町民の防災意識の向上や学校等における防災教育の推進、防災訓練の充実を図ります。また、家庭での災害の備えや旧耐震基準で建築された木造住宅の耐震化などを促進します。

☆自主防災組織の育成を図るとともに、リーダーの育成、女性の参画、防災ネットワークづくりなど、自主防災体制の強化に努めます。

☆災害発生時に町民の安全が確保できるよう、避難行動要支援者等の支援体制づくりや避難場所の周知を図ります。

### 〈主な取組〉

#### 1 防災意識の向上

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 広報紙やホームページをはじめ、様々なメディアを通して防災意識の普及啓発に努めます。	防災訓練の実施	0回	1回	○	○
(2) 学校や生涯学習を通して防災教育を推進します。					
(3) 建築物の耐震化を促進します。	耐震診断・耐震改修の補助金交付件数	0件	10件	○	○

## 2 自主防災の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 自主防災組織の育成を図ります。	自主防災組織結成数	6 組織	23 組織	○	○
(2) 自主防災組織活動の活性化を図るための支援を図ります。					

## 施策3 消防体制の充実

### 現状と課題、これまでの取組

- 消防・救急体制は、常備消防による広域的な体制が確立され、地域においては火災や災害発生時に対応するため、消防団員の確保に努めています。
- 消防団については、新たな団員の確保が課題となっていますが、消防団が使用する消防車両の更新や施設等の維持管理を計画的に行っています。

### 今後の方向性

☆ 地域消防力の要となる消防団員の確保に向け、入団しやすく活動しやすい環境整備を図るとともに、消防団員が減少しても様々な災害に対応できるよう機能別消防団員制度の導入を検討します。

☆ 消防団資機材、装備の整備拡充を図るとともに、消防機庫の維持補修、消防水利の確保を図ります。

☆ 住宅防火対策として、引き続き住宅用火災報知器の設置を促進します。

### 〈主な取組〉

#### 1 地域消防力の強化

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 消防団員の確保に向け、環境の整備を図ります。	新規消防団員数	7人	40人	○	○
(2) 消防設備・資機材の整備を図ります。	機械器具点検評価優良率	94.65%	96%	○	○

#### 2 火災予防の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 消防団と連携して、火災予防啓発活動に努めます。	—	—	—	○	○
(2) 消防本部と連携し、住宅用火災報知器の設置を促進します。					

## KGI(重要目標達成指標)

## 町道舗装補修率

現状値 2.0%



目標値 14.6%

## 施策 1 道路環境の整備

## 現状と課題、これまでの取組

- 町内の幹線道路は、東西4路線と南北2路線により格子状の道路網となっています。また、広域道路として東金九十九里有料道路と九十九里有料道路が整備され、観光や広域アクセスに利用されています。
- 都市計画道路である主要地方道飯岡一宮線バイパス整備の要望をしていますが、(仮称)新九十九里大橋については、架線の取付け部の交差点改良など成果をあげており、橋りょう整備に向けた早期建設を引き続き、県に要望していく必要があります。
- 町道は、日常生活を支えるうえで重要な役割を担っています。舗装修繕計画に基づき補修工事を行っていますが、町道の大半が幅員の狭い道路であるなど、安全な道路環境整備が課題となっています。また、橋りょうについては、予防保全型の維持管理を行い、長寿命化を図るための補修工事を実施しています。

## 今後の方向性

- ☆ (仮称)新九十九里大橋を含む主要地方道飯岡一宮線バイパス整備を促進します。
- ☆ 町民生活に密着した町道の維持補修や側溝整備を推進します。また、橋りょうの長寿命化に向けた維持管理を実施します。
- ☆ 地域住民の意見を考慮した安全で快適な道路環境の整備を図ります。

〈主な取組〉

**1 幹線道路の整備**

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) (仮称) 新九十九里大橋の建設を促進します。	—	—	—	○	○
(2) 県道の側溝整備や歩道設置等を県に要望します。	—	—	—	—	—

**2 町道の整備**

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 計画的に町道の舗装補修を行い、道路環境の整備を図ります。	舗装の補修延長	L = 1470m	L = 1840m	—	—
(2) 橋りょうの長寿命化に向けた維持管理を図ります。	橋りょうの補修件数	1 件	40 件	—	—

## 施策2 公共交通の充実

### 現状と課題、これまでの取組

- 公共交通は、買い物、通院、通学など町民の日常生活に欠かせない交通手段ですが、自動車への依存傾向が強いため、バス利用者は年々減少傾向にあります。
- 人口減少や高齢化が進み、町民を取り巻く交通環境が大きく変化しています。ちばフラワーバスが運行する「海岸線」のルートを延伸するなど、利用客の増加に努めています。

### 今後の方向性

- ☆国・県・町、地域、事業者と連携し、利用環境の向上と町民への周知を図るとともに、地域公共交通に愛着を持ち、共に守るという意識の醸成に努めます。
- ☆高齢者や障がい者、子育て世帯がいつまでも地域で生活できるよう、交通手段の充実や支援を図ります。
- ☆JR東金線複線化促進協議会による利便性向上を図る一方、交通弱者対策に取り組めます。

### 〈主な取組〉

#### 1 公共交通の利用促進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
町民の意識の変化を促しながら、公共交通の利用促進を図ります	広報誌等周知回数	1回	5回	○	○

#### 2 交通手段の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
公共交通会議を開催し、本町にあった交通弱者対策に取り組めます。	交通弱者支援件数	0件	1件	○	○

## 施策3 情報通信基盤の整備

### 現状と課題、これまでの取組

- 情報通信技術（ICT）の進展はめざましく、携帯電話やインターネットは、今や日常生活になくてはならないものとなっています。町内には光ファイバー網が敷設され、通信事業者による高速インターネット接続サービスが提供されています。
- 町民や企業、来誘客などがスムーズに情報を得られるよう、高速化に対応できる情報通信基盤の整備を進めるとともに、ICTを効果的に活用した情報提供に努める必要があります。

### 今後の方向性

☆国・県と連携し、町内すべての地域で高速大容量の情報通信ネットワークが利用できる環境整備を推進します。

☆行政のさまざまな情報やサービスが町民にとって分かりやすく、簡単に利用できるよう、生活に関するサービスや情報の総合的な提供に努めます。

### 〈主な取組〉

#### 1 利用環境の整備

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
高速大容量の情報通信ネットワークが利用できる環境整備を推進します。	5G通信利用可能エリア	0%	100%	—	—

#### 2 電子自治体の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
国の情報政策の動向を踏まえ、広域連携のもと、ICTを活用した業務の効率化を図ります。	—	—	—	○	—

## 施策4 空き家の利活用と移住・定住の促進

### 現状と課題、これまでの取組

- 全国的に空き家の問題\*がクローズアップされ喫緊の課題となっていますが、本町においても管理されていない空き家は年々増加しています。このため、平成29年度に実態調査を行い、329件の空き家と思われる建物の所有者へアンケート調査を実施し結果についてデータベース化を図りました。
- 空き家の再利用や活用を図るため、平成29年に空き家バンク制度を設立、不動産事業者と協定を締結し、制度の周知・PRに努めています。また、移住・定住のきっかけとなるよう、町内で住宅（新築・中古）を取得する際の支援制度を推進しています。
- 本町への移住に関心を持つ方に対する相談対応等を強化する必要があります。

### 今後の方向性

- ☆空き家バンク制度の周知・PRに努め、空き家の有効活用を図るとともに、問い合わせの多い空き地への対応を検討します。
- ☆移住希望者に対する相談対応・情報提供の強化とともに、移住者をスムーズに受け入れるための取り組みを推進します。
- ☆公営ガスの適正な管理運営を図ります。

### 〈主な取組〉

#### 1 空き家の利活用

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 空き家バンク制度の周知・PRに努め、有効活用を図ります。	空き家バンクマッチング件数	1件	1件	○	○
(2) 空家情報のデータベース整備を図ります。	空家等対策計画の作成	—	—	○	○

\*空き家問題／居住その他の使用がなされていない空き家が増加することにより生じる様々な弊害。建物の倒壊のおそれや火災の危険性などの安全性の低下、空き家が原因となる犯罪のおそれ、公衆衛生の悪化などの問題がある。

## 2 移住・定住の促進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 町ホームページや広報誌により移住支援施策の情報発信を行うとともに、SNSを活用した、本町の話題や生活スタイル、イベント情報など、移住定住に関連した写真や動画の配信に努めます。	住宅取得奨励金交付件数	2件	5件	○	—
(2) ガス料金の見直しや経費の削減を行い経営の健全化に努めます。	資金不足比率の維持	—	—	○	○
(3) 経年管の改修、供給設備の老朽化対策等を実施します。	ガス経年管入替延長数	1.2 km	1.5 km	○	○
(4) 県産・公営の優位性について周知します。	ガス新規需要件数	8件	10件	○	○



## 施策5 地域安全の推進

### 現状と課題、これまでの取組

- 犯罪は減少しつつありますが、高齢者を対象とした特殊詐欺など、近年の犯罪は組織化、多様化しています。犯罪を防止するには、警察、町、地域住民のさらなる連携強化を図るとともに、防犯意識の向上を図る必要があります。
- 犯罪とともに、交通事故についても発生を少なくする取組みが求められています。交通事故による死傷者数は年々減少傾向にある一方で、高齢者が事故に遭遇する割合は年々高くなっています。交通マナーを遵守する取組みを進めるとともに、交通環境・道路環境の整備に努める必要があります。
- 消費生活が多様化する中で、架空請求や悪質商法などの手口は年々巧妙、悪質になっています。このため、消費者生活相談窓口を開設し、消費者の意識向上及び安全の確保に努めています。

### 今後の方向性

- ☆ 地域住民の防犯意識の向上を図るとともに、警察との連携のもと、自主防犯組織の育成・拡充、地域ぐるみの防犯活動の促進を図ります。
- ☆ 地域における防犯灯の維持管理など、防犯環境の整備を図ります。
- ☆ 警察、交通安全協会と連携を図り、交通事故防止に努めます。
- ☆ 消費者問題の種類が多様化しており、消費者生活相談員の確保及び育成を図るとともに、関係機関や広域連携により対応を強化します。

### 〈主な取組〉

#### 1 防犯活動の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 防犯意識の向上を図り、自主防犯組織の育成・拡充を図ります。	自主防犯組織の結成	6 組織	11 組織	○	○
(2) 警察、自主防犯組織との協働・連携による防犯活動を推進します。	—	—	—	○	○
(3) 通学路を重点に、防犯灯の維持管理に努めます。	—	—	—	○	○

## 2 交通安全の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 交通安全運動やこども園、小中学校における交通安全教室などを引き続き行い、交通安全意識の向上を図ります。また、高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境整備を図ります。	交通安全講話の実施回数	0回	5回	○	○
(2) カーブミラーの設置・修繕など、交通安全施設の整備を図ります。	—	—	—	○	○
(3) 交通事故相談の充実、交通災害共済の加入促進、交通遺児への支援に努めます。	交通災害共済加入率	13.3%	15.8%	○	○

## 3 消費生活の保護

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 消費者の自立支援に向けた情報提供や知識の普及を図ります。	—	—	—	—	○
(2) 関係機関と連携し、消費生活相談の充実を図ります。					

## KGI(重要目標達成指標)

## 町民一人当たりのごみの排出量(可燃ごみ)

現状値 325 k g



目標値 315 k g

## 施策 1 自然環境の保全

## 現状と課題、これまでの取組

- 社会環境の変化が進む中、豊かな自然環境に対する関心は高く、アンケート調査では、本町の良いところとして「海や川などの自然に恵まれている」、「気候が温暖で明るいイメージがある」を多くの人があげています。九十九里浜という雄大な自然環境の価値を十分に認識しながら、環境や景観への配慮が求められます。
- 海浜地区に生息する塩生植物や防風林、農村集落の楨榎や屋敷林など、本町の風土が育んできた地域の環境資産について、町民の理解を深めるとともに保全・育成に努めています。
- 海岸については、東日本大震災による津波の影響で甚大な被害を受けたことから、九十九里有料道路を利用した津波対策事業を推進してきました。
- 真亀川や作田川とその河川緑地は、水辺生物の生息や都市環境に潤いを与える優れた自然環境であり、保全・活用に努めていますが、さらに、地域の歴史や文化を散策できる道づくりを進めるなど、環境地域づくりを推進する必要があります。

## 今後の方向性

- ☆ 南九十九里浜地域の海岸侵食対策及び海浜事業を促進し、海や渚の保全を図ります。
- ☆ 真亀川、作田川の河川改修による治水対策の促進と合わせ、海岸沿いの身近な自然を活用し、真亀川総合公園施設の維持管理の充実を図ります。

〈主な取組〉

1 海岸保全の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 南九十九里浜地域の海岸侵食の経過観察により、必要に応じて国・県に対策を要望します。	真亀川ポスター展の参加率	100%	100%	—	○
(2) 水質保全に対する意識啓発を推進します。					

2 緑化の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 公園施設が長く利用できるよう、計画的な補修等を図ります。	—	—	—	○	○
(2) みどりの基金を活用し、緑化を推進します。					

## 施策2 資源の循環利用の促進

### 現状と課題、これまでの取組

- 環境の保全に配慮し、資源やエネルギーの循環や水の循環利用を基調とした地域づくりが求められています。そのため、廃棄物を抑制し、風力など地域資源を活用した地域再生可能エネルギーの導入などが求められます。
- ごみについては、東金市外三市町清掃組合により、9種類の分別収集を行い、ごみの発生抑制などに取り組んでいます。この結果、ごみの排出量は次第に減少してきています。今後、ごみの適正処理と減量化（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）として、3R運動の取り組みを促進する必要があります。
- 水資源は、山武郡市広域水道企業団による給水業務、九十九里地域水道企業団による供給業務により、ほぼ全域に給水しています。一方、生活雑排水の排出により、真亀川や作田川などの河川、用水路等の汚濁への対応が大きな課題となっています。合併処理浄化槽の普及や農村集落地区については農業集落排水への接続の促進が課題となっています。
- し尿処理については、山武郡市広域行政組合（環境アクアプラント）により収集が行われています。し尿汲取量は減少傾向にありますが、浄化槽汚泥の処理量が増加しており、適正な処理に努めていく必要があります。

### 今後の方向性

- ☆資源循環型社会の形成に向け、町民、事業者、町が協働して3R運動の実践に努め、ごみの減量と再資源化を図ります。
- ☆東金市外三市町清掃組合で広域的にごみ処理を行うことにより、効率的な処理をしており、引き続き広域処理体制の充実に努めます。
- ☆安全で良質な水を安定的に供給するための上水道事業の持続可能な運営を図ります。
- ☆九十九里町污水適正処理構想に基づき、地域の実情に即した浄化槽の整備や農業集落排水への接続を促進します。
- ☆し尿処理施設（環境アクアプラント）の計画的な施設運営に努めます。

## 〈主な取組〉

### 1 地域再生可能エネルギーの推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
風力を利用した地域再生可能エネルギーの実現に向けて推進します。	—	—	—	—	○

### 2 3R運動の促進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
ごみの減量、再利用、再生利用に関する意識啓発として、3R運動を促進します。	補助金交付件数	8件	10件	—	○
	資源回収量	40,569kg	40,000kg	—	○

### 3 水の安全供給

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
持続可能な水道事業の経営を促進するとともに、節水方法等の周知を図ります。	広報等周知回数	0回	1回	○	○
	定期的な水質検査の実施	12回	12回	—	○

### 4 汚水対策の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
地域の実情に即した浄化槽の整備や農業集落排水への接続を促進します。し尿処理施設の効率的な運営に努めます。	接続数	633件	633件	○	○
	合併処理浄化槽の補助件数	6件	7件	—	○
	定期的な水質検査の実施回数	2回	2回	—	○

## 施策3 環境美化の促進

### 現状と課題、これまでの取組

- 環境美化活動は、地域の人たちが海岸や河川・水路の清掃、道路周辺の環境美化などに取り組んでいます。特に海岸清掃では事業所の協力や町内外の人たちにより活発なクリーン作戦が展開されています。また、町民はもとより町を訪れる人にもマナーの向上を促し、ポイ捨て防止に努めています。
- 公害問題では、悪臭や水質汚濁にかかわる問題があり、発生源対策の強化が求められています。生活環境における諸問題は複雑化しており、地域住民や関係機関と連携・協働した取り組みが必要となっています。

### 今後の方向性

- ☆町民の環境美化への意識の高揚に努め、地域や各種団体と協働して環境美化を推進します。
- ☆公共用水域の水質改善に向けた取り組みとして、関係機関との連携・指導体制を強化し、公害の防止に努めます。

### 〈主な取組〉

#### 1 環境美化の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 地域の人たちによる環境美化活動を推進します。	ゴミゼロ運動の参加人数	3,455人	8,000人	—	—
(2) クリーン作戦による海岸清掃を引き続き推進します。					
(3) ポイ捨て禁止の啓発、指導に努めます。					

#### 2 公害防止の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 工場・事業者への指導を通して、水質汚濁の未然防止を図り、河川水質の維持・保全に努めます。	パトロールの実施回数	2回	2回	—	—
(2) 公害関係法令による規制の徹底を図ります。					

# 第4章

## 生きる力と豊かな心を育むまちづくり

### 政策 1

#### 子どもたちの生きる力を育む

##### 施策

- 1 特色ある教育の推進
- 2 学校教育施設・設備の充実
- 3 学校・家庭・地域との連携

### 政策 2

#### 多様な学習機会の充実

##### 施策

- 1 生涯学習の充実
- 2 地域文化の継承と創造
- 3 スポーツ活動の充実

## KGI(重要目標達成指標)

## 社会教育活動への参加率

現状値 75.0%



目標値 85.0%

## 施策 1 特色ある教育の推進

## 現状と課題、これまでの取組

- 社会が大きく変化する中、社会に柔軟に対応できる「生きる力」を身につけていくことが重要となっています。各学校では、地域や学校の特性を生かした教育課程を編成し、「確かな学力」を身につけ、個性を伸ばし、豊かな情操と道徳心を養う教育を推進しています。
- 「豊かな心」を育むために、「心の九十九里ルール<sup>※</sup>」を制定し、家庭、地域と連携・協働した共通の実践目標の定着を図るとともに、道徳教育での学びと実践の場である体験活動を通して互いを思い合う心の育成に努めています。

## 今後の方向性

- ☆児童生徒の学習内容の理解が深まるよう、指導方法の工夫により、「確かな学力」の向上を図ります。
- ☆「豊かな心」を育むことができるよう、「心の九十九里ルール」の定着を図るとともに、道徳教育の推進を図ります。
- ☆特別な支援を必要とする児童生徒に対して、適切な就学指導を図ります。

※心の九十九里ルール／「家庭教育力」の重要性の周知及び向上を目的とした、児童・生徒たちが規範とすべき7つのルール。

## 〈主な取組〉

### 1 「確かな学力」の向上

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 読書の奨励や10分間テストなどの工夫をしながら学力の定着を図ります。	—	—	—	—	○
(2) 授業のICT機器の積極的な活用による解りやすい授業を実施する一方、学習規律(挨拶、聞く態度、学習中の姿勢、えんぴつの持ち方等)の徹底を図ります。	教職員 ICT 機器研修会の参加回数	0回	5回	—	○
(3) 小学校外国語活動の円滑な実施を図ります。	—	—	—	—	○

### 2 体験学習の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 地域社会との連携・協力のもと、校外学習や職場体験学習の充実を図ります。	体験学習の実施回数	各学年1回	各学年1回	—	○
(2) 地域住民との連携のもと、郷土文化の良さを再認識する学習の充実を図ります。					

### 3 「豊かな心」の育成

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 道徳教育、人権教育により、心の教育の充実を図ります。	—	—	—	—	○
(2) 学校・家庭・地域が連携した「心の九十九里ルール」の実践に努めます。					

### 4 特別支援教育の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
保護者・学校と協議し、児童生徒の実態に合わせた適正な支援を図ります。	—	—	—	—	○

## 5 教育相談の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 心の教育相談員を活用した不登校支援教室やスクールカウンセラーによるカウンセリングの充実を図ります。	アンケートの実施回数	3回	3回	—	○
(2) 小中学校や関係機関との連携強化を図ります。					

## 6 教職員に対する研修の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
教職員の教育研究活動や研修内容の充実を図ります。	九十九里町教育研究会研修回数	2回	2回	—	○



## 施策2 学校教育施設・設備の充実

### 現状と課題、これまでの取組

- 学校教育施設としての機能維持の観点から、老朽化等により不具合が生じている施設の補修修繕を行い、教育環境の向上に努めています。
- 学校給食センターは老朽化が進み、また空調設備がないなど調理施設の整備も求められていますが、減少する児童生徒に対応した給食事業のあり方を検討していく必要があります。

### 今後の方向性

- ☆ 学校施設の老朽化対策に引き続き取り組みます。
- ☆ 児童生徒数の推移を踏まえ、九十九里町立小学校及び中学校の将来を展望した学校のあり方について検討します。
- ☆ 児童生徒の減少に対応した給食事業のあり方を検討します。

### 〈主な取組〉

#### 1 学校施設の適正な維持

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 学校施設の安全点検と補修修繕など、老朽化対策に取り組みます。	—	—	—	—	○
(2) 老朽化等により不具合が生じている施設の整備を行い、教育環境の向上に努めます。					

#### 2 教育環境の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 学校のあり方検討委員会を設置し、学校の今後の方向性等について検討します。	学校のあり方検討委員会会議回数	0回	8回	—	○
(2) 児童生徒の減少に対応した給食事業のあり方を検討します。	事故による給食停止日数	0件	0件	○	○
(3) 安全安心な学校給食を提供します。					

## 施策3 学校・家庭・地域との連携

### 現状と課題、これまでの取組

- 児童生徒の教育を学校だけで完結させるのではなく、家庭・地域と一体となって推進していくことが大切です。児童生徒保護者アンケートの実施や学校関係者評価委員会を開催し、保護者や地域住民の学校運営への参画の促進を図っています。
- 地域の持つ教育力を活用し、郷土に関わることを学習し、郷土を誇りに思う心を持った児童生徒の育成を図るために、海岸清掃、田植え・稲刈り体験、サーフィン教室等を実施しています。
- 家庭や地域の教育力の向上が図られるよう、家庭教育学習に取り組んでいます。また、学校・家庭・地域が連携して子ども会活動や青少年活動を推進していますが、各事業の実施時に、地域クラブとの開催時期が重なるなどから参加者が減少傾向にあります。子どもや保護者のニーズに即した内容としていく必要があります。

### 今後の方向性

- ☆ 学校・家庭・地域が課題を共有し、課題解決の手立てを示すことで、より質の高い教育を目指します。
- ☆ 地域の協力を得ながら、豊かな自然や郷土文化に触れる機会を増やします。
- ☆ 家庭教育の支援とともに、学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上を図ります。

### 〈主な取組〉

#### 1 地域に開かれた学校づくり

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) アンケート調査や学校関係者評価委員会を活用して、保護者や地域住民の学校運営の参画を促進します。	アンケートの実施回数	各校1回	各校1回	-	○
(2) 地元の自然や環境を取り入れた取り組みを、積極的に授業に組み込みます。					

## 2 家庭教育の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
家庭教育学級をはじめ、児童・保護者のニーズにあった家庭教育事業を支援します。	家庭教育学級開催数	25回	30回	○	○

## 3 青少年の健全育成

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
<p>(1) 子ども会活動や青少年活動団体を支援するとともに、活動を企画し推進する指導者を育成します。</p> <p>(2) 通学合宿については、内容の見直しを図り、地域や学生ボランティアと連携して、子ども達の育成に努めます。</p>	子ども会数の減少抑止	15団体	15団体	○	○
	青少年相談員活動の実施回数	5回	5回	○	○
	ジュニアリーダークラブ活動参加者の増加	4名	5名	○	○
	自主性・社会性・協調性の向上率	98%	100%	○	○

## KGI(重要目標達成指標)

## 中央公民館・つくも学遊館の主催講座の受講者数

現状値 343 人



目標値 360 人

## 施策 1 生涯学習の充実

## 現状と課題、これまでの取組

- 社会の変化に対応し、心豊かな充実した人生を送ることができるよう、生涯学習を通じて学習し、その成果を日常生活や地域社会などに生かしていくことが重要です。
- 中央公民館、つくも学遊館を生涯学習活動の拠点に、各種事業や講座を開催していますが、学習に対するニーズは多様化・高度化しており、誰もが自由に学習機会を選択して学ぶことができるような環境の整備が求められています。
- 生涯学習施設については、適切な修繕等を行うことにより、施設の長寿命化を図る必要があります。

## 今後の方向性

- ☆ 多様な学習ニーズに対応できる学習内容や学習情報を提供するとともに、生涯学習リーダーや団体の育成など、学習活動の充実を図ります。
- ☆ 生涯学習の成果をまちづくりに活用できるような機会の提供を図ります。
- ☆ 生涯学習施設は、適切な維持・管理による長寿命化を図ります。

〈主な取組〉

1 生涯学習の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 市民のニーズに対応した講座を開催するなど学習機会の拡充を図ります。 (2) 講座から同好会へ移行した各団体の自主的運営支援に努めます。 (3) 生涯学習の成果をまちづくりや子どもの育成などに活用できるよう、機会の提供に努めます。	事例発表団体数	4 団体	4 団体	○	○
	中央公民館・つくも学遊館主催の講座受講者の参加人数	343 人	360 人	○	○
	文化活動団体への支援	31 団体	31 団体	○	○

2 生涯学習環境の整備

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
生涯学習施設の補修、修繕などにより、老朽化対策に取り組みます。	—	—	—	○	○

## 施策2 地域文化の継承と創造

### 現状と課題、これまでの取組

- 「心の豊かさ」が重視される時代にあって、芸術・文化活動、教養や趣味の学習を推進する必要があります。文化団体連絡協議会を中心とした同好会活動の支援とともに、秋には文化祭を開催し、発表の場の確保に努めています。
- 郷土芸能は、後継者の確保が課題となっていますが、各地域に伝承されている郷土芸能を一堂に会した発表の場を3年に一度設け、郷土芸能の保存・継承を図っています。また、町内の小学校では、郷土芸能団体の協力を得て、郷土芸能や和楽器に触れる教育に取り組んでいます。子どもたちを文化の継承者として育成する必要があります。
- 文化財については、保護・活用に努めていますが、旧いわし博物館に貯蔵してあった古文書等の適正な管理が必要となっています。

### 今後の方向性

☆文化団体連絡協議会の活動支援を図り、事業の充実に努めます。

☆郷土芸能の活性化に向けた支援と保存・伝承を推進します。

☆文化財の保護とともに、町民が文化財に関心を持つことができるよう、活用方法を検討します。

### 〈主な取組〉

#### 1 芸術文化活動の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 文化祭の開催のほか、町民自らが取り組む芸術・文化活動を支援します。	町民文化祭参加団体数	—	31 団体	○	○
(2) 芸術・文化活動団体の育成を図ります。					

#### 2 郷土芸能の保存・継承

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 郷土芸能継承のための団体を支援し、発表会を開催します。	活動団体数	9 団体	9 団体	○	○
(2) 子どもたちを地域文化の継承者として育成します。					

### 3 文化財の保存・活用

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
歴史・文化資料の収集・整理を行い、文化財の情報提供などに活用できる環境整備を図ります。	—	—	—	—	—

## 施策3 スポーツ活動の充実

### 現状と課題、これまでの取組

- 健康志向の高まりを背景に、スポーツ・レクリエーション活動への関心は高く、スポーツ協会を中心に、各種教室や大会を開催し、活動場所の確保、指導者の育成を図っています。
- 少子高齢化に伴う人口減少もあり、スポーツ教室や大会への参加者は減少しており、なかでも仕事や家事に忙しい壮中年層のスポーツ離れが目立ちます。今後、身近で各自の年齢や体力に合わせて楽しむことのできる教室や地域スポーツクラブの充実が課題となっています。
- 九十九里浜では、海水浴や釣り、サーフィンが盛んとなっていますが、近年は全国的にビーチバレーやビーチサッカーなど海辺を活用したスポーツが盛んになり、多くの人を集めています。本町においても観光振興と連携した海辺のスポーツ環境づくりが今後の課題となっています。

### 今後の方向性

- ☆スポーツ協会の活動支援を通して、団体の育成や事業の充実に努めます。
- ☆気軽にスポーツを親しむことのできる環境づくり、地域の実情に応じた教室や地域スポーツクラブを支援します。
- ☆観光振興と連携を図りながら、海辺のスポーツ環境づくりに向け検討します。

### 〈主な取組〉

#### 1 スポーツ活動の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) スポーツ協会を支援し、スポーツ団体の育成を図ります。 (2) 誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室や地域スポーツクラブの普及に努めます。	学校体育施設登録団体数	41 団体	41 団体	○	○
	スポーツ教室開催回数	1 回	1 回	○	○
	社会体育事業参加者数	795 名	1,350 名	○	○
	スポーツ協会加盟団体数	18 団体	19 団体	○	○

## 2 スポーツ施設の維持・改修

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
スポーツ施設の維持・改修を図ります。	野球場年間累計利用団体数	150 団体	170 団体	○	○

## 3 海辺のスポーツ環境づくり

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 海辺のスポーツを切り口に、情報発信に努めます。	海岸を活用したスポーツ事業の実施	0 回	2 回	○	○
(2) 観光振興と連携を図りながら、海辺のスポーツ構想を検討します。					



# 第5章

## ともに生きるつながりのまちづくり

### 政策 1

#### 誰もがつながるまちづくり

##### 施策

1 人権の尊重

2 男女共同参画

### 政策 2

#### 協働によるまちづくり

##### 施策

1 わかりやすい町政の推進

2 協働の仕組みづくり

## 政策 1

# 誰もがつながるまちづくり

### KGI(重要目標達成指標)

#### 審議会等の女性委員の割合

現状値 16.8%



目標値 20.0%

## 施策 1 人権の尊重

### 現状と課題、これまでの取組

- 21世紀は「人権の世紀」と言われます。お互いの人権を尊重していくためには、町民一人ひとりが人権を身近な問題として捉えることのできる機会づくりが必要です。
- 啓発リーフレットや講演会などにより啓発活動に努めていますが、効果的な人権啓発の推進が必要です。また、配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力による人権侵害が社会的問題となっており、未然防止への取り組みが求められます。

### 今後の方向性

- ☆人権尊重の理念が町民一人ひとりの意識に十分根づくよう、人権教育・啓発を推進します。
- ☆日常生活において生じる人権相談の充実を図ります。
- ☆関係機関と連携し、配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力の未然防止と被害者支援を図ります。

〈主な取組〉

1 人権教育・啓発の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 学校、地域、企業などにおいて、あらゆる機会を通じて人権教育・啓発を推進します。	人権教室開催件数	8 件	8 件	○	○
(2) 人権相談の充実を図ります。	何でも相談開催件数	12 回	12 回	○	○

2 配偶者等からの暴力の未然防止

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
関係機関と連携のもと、配偶者等からの暴力防止や未然防止に努めます。	相談件数	0 件	—	○	○



## 施策2 男女共同参画

### 現状と課題、これまでの取組

- 男女共同参画の周知を図るため、海匝・山武地域による広域連携のもと、推進員を選定し、男女共同参画の普及につながる講演会、寸劇の実施、新聞だよりの作成などで、広く周知・啓発に努めています。
- 「男性は仕事、女性は家庭」という男女の固定的役割分担意識について、アンケート調査では「同感しない」が74.0%と圧倒的に多く、男女共同参画に対する意識は次第に高まりつつありますが、地域での女性の活躍の現状評価については、否定的な回答が54.0%と肯定的な回答42.7%を上回ります。
- 平成27年に女性活躍推進法が施行され、女性の活躍をはばむ制度・慣習の変革に向けて大きく動き出しています。
- 結婚を希望する独身者に対しては、男女の出会いを支援する機会を提供する必要があります。

### 今後の方向性

- ☆学校、地域、企業などにおいて、あらゆる機会を通じて教育・学習機会を提供することで、男女共同参画意識の醸成を図ります。
- ☆働く場における女性の活躍を推進するとともに、働き方改革に対する機運の高まりを背景に、町民、事業者、団体などが連携してワーク・ライフ・バランスの※実現に向けて取り組みます。
- ☆町主催婚活イベントを開催するとともに民間団体が取り組んでいる結婚支援活動の推進を図ります。

※ワーク・ライフ・バランス／「仕事と生活の調和」と訳され、仕事上で成果を発揮しながら、家庭や地域生活などにおいても充実した生活を送れるよう、働き方などを見直すというもの。

## 〈主な取組〉

### 1 男女共同参画意識の醸成

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
九十九里町男女共同参画計画の策定及び計画に基づき、町民・企業に職場環境の整備等（ワークライフバランス）を働きかけるとともに、男女共同参画推進員と連携し、啓発活動に努めます。	男女共同参画啓発活動数	1回	1回	○	○

### 2 結婚支援活動の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
町主催婚活イベントを開催するとともに民間団体が行っている結婚支援活動を支援します。	町主催婚活イベント開催件数	0件	1件	○	—



KGI(重要目標達成指標)

町民との協働による事業数

現状値 0 件



目標値 1 件

## 施策 1 わかりやすい町政の推進

### 現状と課題、これまでの取組

- 急速な少子高齢化、人口減少社会の到来、それに伴う社会保障関係費等の増加など、行政を取り巻く環境は厳しさを増しています。
- 限られた財源と人的資源を生かし、より効率的な行財政運営を図るため、「行政改革推進プラン」による行財政改革に取り組んでいます。
- 財政については、人口減少等による税収減少と社会保障関係費等が増加の中、町税等の徴収率の向上など自主財源の確保に努めています。また、「公共施設等総合管理計画」による公共施設・インフラの長寿命化などに取り組んでいます。
- 行政の情報システムについては、住民基本台帳ネットワークと福祉系業務のクラウド\*が実現するなど、電子自治体の構築に取り組んでいます。
- 人的交流は、地域の活力を向上させるうえで大きな役割を果たします。山の里と海の里の交流として始まった富山県上市町との姉妹都市提携による交流を進めています。

\*クラウド／インターネット上にあるデータやソフトウェアなどを、それがどこに存在するかを意識することなく使える環境や利用形態。

## 今後の方向性

- ☆「行政改革推進プラン」に基づき定員管理の適正化を図るとともに、行財政のさまざまな情報や事務事業の費用と効果を広く町民にわかりやすく公表します。
- ☆民間との適切な役割分担のもと、民間委託や指定管理者制度などを活用しながら、事務事業の見直しを図ります。
- ☆町民ニーズや社会環境の変化などを踏まえ、組織機構の再編・見直し、職員能力の向上に努めます。
- ☆自主財源の確保を図るとともに、持続可能な財政運営に努めます。
- ☆「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設・インフラの効率的な管理運営を図ります。
- ☆電子自治体の推進を図るため、国の情報政策の動向を踏まえつつ、本町に適したデジタルトランスフォーメーション<sup>※</sup>の取り組みを加速させます。
- ☆姉妹都市である富山県上市町との幅広い交流を進め、その成果をまちづくりに生かしていきます。

## 〈主な取組〉

### 1 行政改革の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 業務の簡素化・効率化などにより、定員管理の適正化に努めます。	定員管理計画に基づく職員数の確保	92.9%	100%	—	○
(2) 費用対効果や必要性を十分に勘案し、事務事業の見直しを図ります。 (3) 財務書類の公表を行い、財政運営の透明性の向上を図ります。	電子申請手続利用件数	43件	107件	—	○

※デジタルトランスフォーメーション／ITの浸透が、人々のあらゆる面でより良い方向に変化させるという概念のこと

## 2 組織機構・職員の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
<p>(1) 引き続き組織機構の再編・見直しを図ります。</p> <p>(2) 職員の能力や可能性を引き出すことができるよう、多様な研修機会の提供、研修内容の充実を図ります。</p>	研修内容が意識・業務の向上に役立ったと感じた職員の割合	76.5%	90.0%	—	○

## 3 健全な財政運営

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 自主財源の確保を図るため、町税等の徴収率の向上と受益者負担の適正化に努めます。	町税の徴収率	89.86%	93.10%	—	—
(2) 中長期的な展望のもと、持続可能な財政運営に努めます。	経常収支比率	87.8%	87.8%	—	—
(3) 九十九里町新庁舎建設に係る基本指針を策定します。	—	—	—	—	—
(4) 円滑な町民サービスを提供するため、行政運営に必要な庁舎等施設及び公用車の適正な維持管理を図ります。	—	—	—	—	—

## 4 広域連携の推進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
広域連携による観光情報の発信を強化するとともに、地域の一体的な観光振興を推進します。	—	—	—	○	—

## 5 姉妹都市との交流促進

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
人的交流を継続的に進め、教育・文化・スポーツ・産業等、分野を越えた交流を促進します。	交流事業	—	—	—	○

## 施策2 協働の仕組みづくり

### 現状と課題、これまでの取組

- 町の施策や行財政をはじめ、地域に密着した情報を広報紙やホームページ、議会だよりなどを活用し、町民に情報提供する広報活動の充実に努めています。
- 協働のまちづくりを推進するためには、アンケート調査にもあるように「行政情報の積極的な公開」が求められ、町民と行政が情報を共有化し、相互理解のうえでまちづくりを推進していく必要があります。
- アンケート調査で協働のまちづくりで重要としているのは「住民の意思を施策に反映させる仕組みづくり」であり、自治基本条例の制定や地域のまちづくりを支援する仕組みなどを検討していく必要があります。
- 社会環境が大きく変化する中で、誰もが住み慣れた地域のなかで地域住民とつながり、自立した生活を送ることのできる社会の実現が求められます。
- 地域においては自治区や子ども会などを中心に、各種行事や祭、清掃活動などが行われ、また、地域の課題解決にも取り組んできました。しかしながら、少子高齢化が進み、人口が減少し、また、人と人との結びつきが希薄化し、地域の活動を続けていくことが難しい地域も見られます。自治区の再編などを通して、地域コミュニティ活動を活発にしていくことが求められます。

### 今後の方向性

- ☆広報紙やホームページ、パブリシティ活動\*などを通して情報提供の充実に図ります。また、各課におけるPR戦略及び町の魅力発信について、積極的なSNSの活用を促進します。
- ☆広聴活動については、町長への手紙、ホームページ問い合わせフォーム、パブリックコメント制度などの周知を図り、提案や意見を受け付け、町政運営への反映を図ります。
- ☆情報の共有が図られ、協働のまちづくりにつながる仕組みをつくります。
- ☆町民参加の場へ多くの町民の参画を促すとともに、活動への参加を通じて地域づくりへの若者、高齢者、女性の参画を促進し、地域の担い手の育成を図ります。
- ☆自治区、子ども会等の自主的な地域づくり活動や、自治区の再編、地域コミュニティを支える人材の育成などを通して、地域コミュニティ活動への支援を図ります。

\*パブリシティ活動／行政機関などが情報や資料を積極的に報道機関に提供したり、また、取材に応じたりして、ニュース、報道記事として取り上げられるようにする広報活動のこと。

〈主な取組〉

1 広報広聴の充実

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 広報紙、ホームページ、SNSなどを活用し、町からの情報提供の充実を図ります。	広報紙の発行部数	6,200部/月	6,200部/月	○	○
(2) 広聴活動の周知を図るとともに、町民の提案や意見を聞く機会づくりに努めます。	町長への手紙等の受理件数	33件	50件	○	○

2 協働への取組

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
地域住民が主体となった地域づくり活動を進めるため、「町民参加の場」づくりを支援します。	NPO等団体設立支援件数	0件	1件	○	○

3 地域コミュニティ活動の支援

取組内容	指標名	現状値	目標値	総合戦略	SDGs
(1) 自治区長で組織される連絡協議会と連携を図りながら、規模の小さな自治区の支援を図ります。	地域コミュニティ活動相談件数	2件	3件	○	○
(2) 地区集会施設等の環境整備を図り、活動拠点整備に努めます。					